



027044-000-1

特10-384

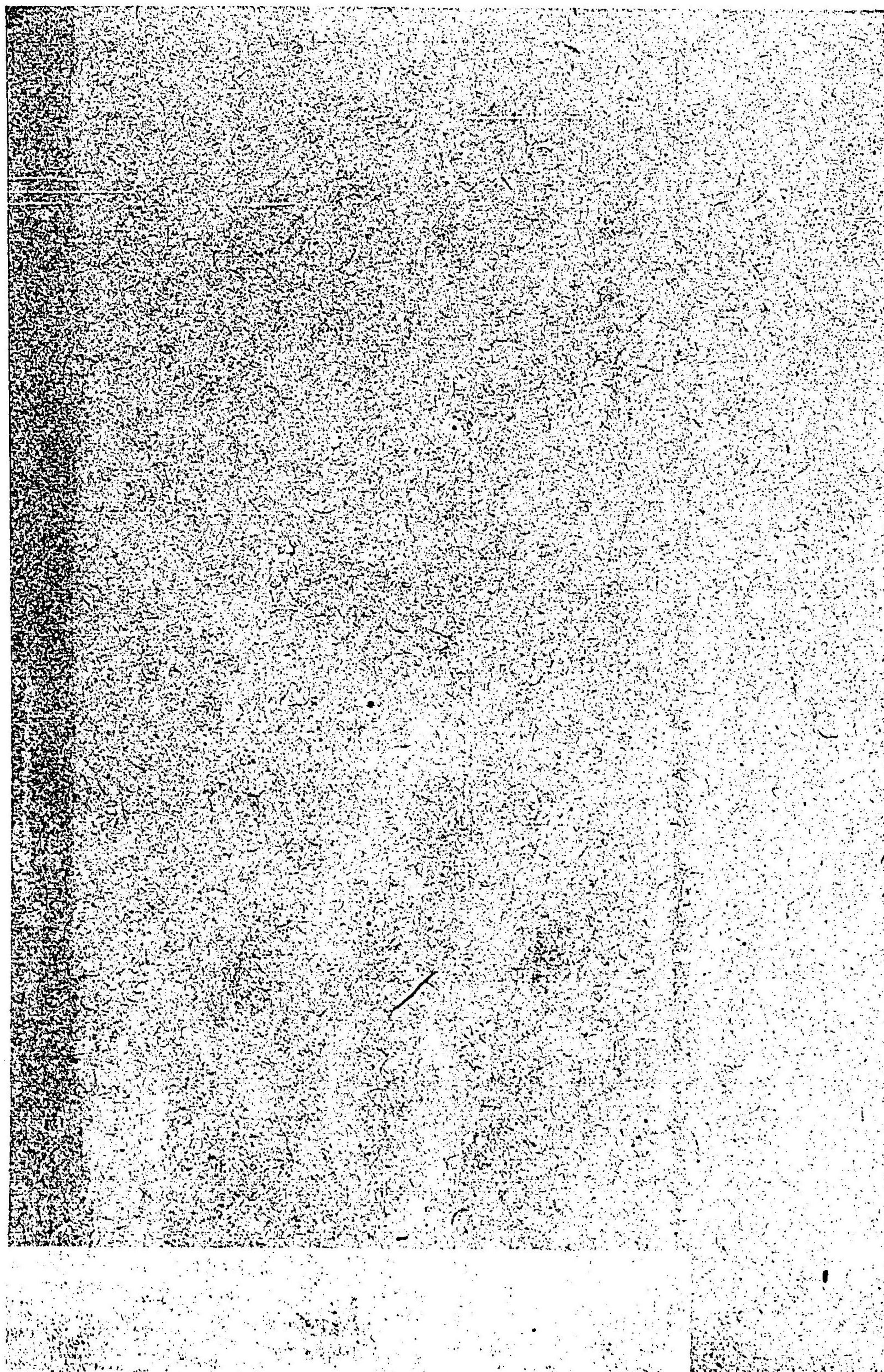
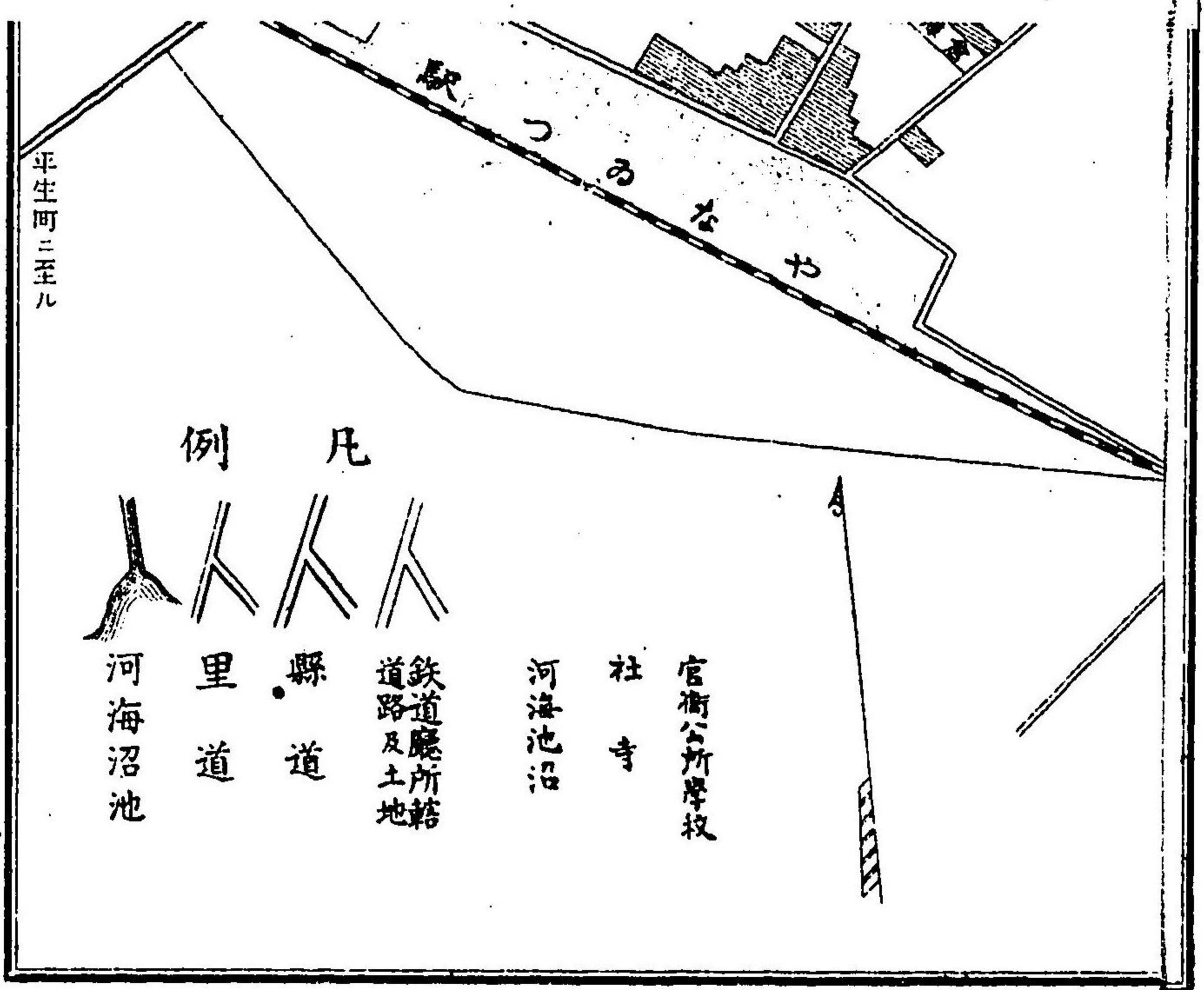
最新柳井町市街図

富士 秀太郎／編

M44

ADI-0059









## 柳井町の起原

昔人皇三十代欽明天皇の御宇豐後國玉田の邑に盤若姫と云へるあり容姿艶麗頗る美人の稱あり時ふ天皇第四の宮橋豊日皇子（天子）を聞き身躬から行て之れを見且つ喜び寵幸益々厚し後ち皇子故あり姫を留めて獨り洛（おとこ）歸り盤若姫又日夕愛慕し上洛皇子に近侍せんとの念甚だ切なり會々百濟國の船豊後に來泊す姫の父夫（おじ）を嘗ひ頼て以て姫を上洛せしめん事を乞ふ船士等輒ち之を諾す依て侍女婢女家家人等數百人を引供し別に船百數十艘を艦し白杵浦より發船せり然るに途中海風大いに起り苦艱因惱潮（くわ）（くわ）として弊船島崎を経て既に大島の瀬戸を航過せんとするに當り復又暴風怒濤に遇ひ且つ迅雷霹靂として其光景實ふ慘死参加ふるに暮夜瞬冥咫尺を辨せず衆船爲に四散え或は死し或は傷き船士等又茫然自失爲す所を知らず時に姫の家人某姫の居常信仰する千手觀音像を奉持し祈願久ふして海に投せしに不思議や風浪忽にして收り空晴れ天亦明けたり茲に於て彼此殘存せる大小船舶集り會するもの八十餘艘あり而して九死ふ一生を得たる二百三十餘人のもの僅かふ身を以て瀬戸の小島に漂着助命したり是れ裸島の稱ある所以あり（中略）時恰も初夏に際し衆大に渴し清水を欲する事甚し依て灣内深く探求迄以て一つの井泉を得たり則ち一掬試みに之を口ふせば心氣清涼たり衆大に喜び器に盛り携へ歸りて姫ふ獻す姫亦甚嘉賞（まほしやう）を給ひ則ち齋す所の楊枝を取り井泉の邊に挿植し且宣すらく斯の處必ず菩薩出現せんと果せるかあ斯の楊枝一夜にして枝葉を發し日を経て繁茂生長せり是より後人名けて此處を柳井と稱す（地名辭書に依る）

## 柳井町の沿革に就て

此地數千年の昔源平の古戰跡乃至降て大内毛利吉川氏等の封建時代より明治維新の變亂を経て今日  
お至る其間大に記述すべきものわらんも而も今と开が史料ふ乏く口碑傳説又區々にして未だ述に傳  
を措き難きものあり依て他日之が研究討尋の機會を待たん

## 地勢

周防國の東南玖珂郡の南端に位し北琴石三ヶ  
嶽の轍峰に掩され南は一葦帶水を隔てゝ大島郡  
と相對す是我柳井町なり東大島の瀬戸より南室  
津海峡との間ふ天然の一大良港灣である氣候は  
冬暖く夏涼し土地堅く平坦にして市外之耕作に  
適し市内之専ら商業に從ひ縣下赤間ヶ關ふ亞ぐ  
の商業地あり

面積 千八百八十六町餘步

東西 一里二十四丁

南北 一里二十九丁

戸數 贳千七百廿九戸

人口

現籍男 六千六百六十八人

現籍女 六千五百十二人

小計 貳萬參千百八十人

入寄留者男 九百〇五人

入寄留者女 七百九十七人

小計 千七百〇二人

合計 壱萬四千八百八十二人

## 地所、反別、地價

(明治四十二年  
二月一日現在)

地目	反別	地	圓價
田宅	六、七、四、二	一〇三、一四、六、一〇	反別
烟	七、七、三、三	九、八、九、八、八	
山	一、三、一、六、三	六、九、八、七、〇	
鹽	九、七、一、六、八	門、〇六、一、五、五	
池	三、五、〇、一、九	四、一〇、四、四、〇	
沼	三、八、一、九、一	一九、七、〇	
田	二、六、九、六	三、八、一、九、一	
林	三、八、一、九、一	三、八、一、九、一	
計	一八、七、九、二、三、元	三、八、一、九、一、三、五	

## 交通機關

柳井津驛

山陽線の主要驛

大阪商船會社漁船

毎日中國各地を經て寄港す  
尼ヶ崎漁船部

全

大島漁船會社

毎日當町岸ノ下港出帆大島郡

大阪商船會社別府尾ノ道線

往復寄港

松本漁船部吳別府線

往復寄港

三郡連絡漁船會社

毎日當港出航 大島郡各  
港と熊毛郡各港に至る





荒物商

久保屋金  
芳物商  
沖堀平兵衛  
七國平堀冲  
商店雜貨

履物商

全古金士全  
市屋手

驛松佐伊弘  
重田藤江  
佐彥浅  
太次太柳  
一郎郎一吉

建具及家俱商  
長電五五番 洋家

金洲全縣  
岡崎  
助市街  
重與  
兵兵政  
野村田  
中窪大海

卷之三

寶全綠來  
長電三番  
島津源次  
岡彌吉郎  
了軒支店  
水河了了  
閣店一明  
乾魚閣

肩商

綠洲崎  
新市三丁目  
長電五番  
星星出  
村本出  
秋次之  
郎助吉

中野  
自轉車商  
堺江  
新市一丁目  
金屋  
弘森山  
重脇  
忠助  
助雄  
本九左衛門

時計商

卷之三

文具商 硝子商

此石灰窯  
出豐船具  
出堀本  
鐵平成國兵  
助言七衛  
介店  
助助郎吉  
助助郎吉  
本川田辰忠三貞  
野貫井房寅  
坂坂淺太次郎一  
辻木田綿玉  
辻星  
星宮沖沖  
加重福藤村田時時計計  
店店店

織物機械商

新市四丁目 織物機械商 中桐式織機販賣所

附錄

國宮朝錢光  
森本枝林田  
與與松松奇  
勝勝音音一  
二吉吉郎郎鄭  
三二二

菓子製造販賣商

賣商  
林田三宮伊藤本榮三長天青  
狗林月陽壽  
堂堂堂堂

書籍商

藤朝長谷川文友堂  
田本明文堂  
文友堂  
堂

生魚店

熊田松次郎



265

824

名所、舊跡(及柳井附近)

伊保庄 (盤若寺) 盤若姫古墳  
白瀧 遠崎 (妙圓寺) 月性ノ墓  
伊保庄 上田  
神代城 南大師山  
代城 岩尾ノ瀧  
北濱新愛宕 柳井娼妓健康診斷所  
柳井娼妓病院  
新柳全三九番 長電三番 河内山醫院  
新柳全八一番 鈴木醫院

官衙公所

柳井娼妓健康診斷所

柳井娼妓病院

柳井宮本活版所印行

中冢 手新市一丁目  
高妹 全五九番  
北濱地新屋敷  
中馬上馬血  
北濱中塚  
中塚  
北濱

(三) 尾井川中上重山村  
弘岡市香田山政嶺原伊庭  
牙齒科醫院

265

824

明治四十四年四月十四日印刷  
明治四十四年四月十五日發行

山口縣玖珂郡柳井町大字柳井津第二八一番地  
編輯人 富士秀太郎  
發行人 印刷人 宮本成言

官衙公所



中塚 新市一丁目 金五九番  
土手 姫田 田後地 北濱 中塚 馬上馬血 上馬血  
妹井 医院 伊庭 齋藤 政香 田山 弘市 岡村 重山 村山 井尾  
井尾 医院 伊庭 齋藤 政香 田山 弘市 岡村 重山 村山 井尾  
医 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院 院

